

令和7年度第6回富津市教育委員会定例会議 会議録

発言者	発言内容
山下教育長	<p>9月になり、新学期を迎える各学校にも子どもたちの元気な声が聞こえるようになりました。おかげさまで大きな事故もなく無事に2学期を迎えることができました。しかしながら、まだまだ暑い日が続くようなので熱中症等の心配があります。また、コロナウイルスの感染者が増加傾向にあるとの報道もあります。今まで以上に子供たちの健康管理に留意しながら、充実した2学期となるよう学校と連携を図ってまいります。</p> <p>本日は、報告事項が3件です。それでは会議を開催します。忌憚のない御意見をお願いします。</p> <p>本日の議事録署名委員の指名ですが、藤平委員にお願いします。</p> <p>最初に、教育長報告を申し上げます。1ページをお開きください。</p> <p>1の君津地方教育研究集会全体会は、8月22日に君津文化ホールの大ホールで開催され、各学校代表者の出席のもと、君津市長、南房総教育事務所長、袖ヶ浦市教育委員会教育長、君津地方教育研究会会长などが登壇し、全体会が行われました。その後、同会場で記念講演会が行われました。また、9月12日には袖ヶ浦市を会場市として各教科等の研究実践の発表会が行われました。</p> <p>2の東京湾フェリー特別クルーズは、市内の小学5年生に同行し、一緒に鋸山の理解を深めました。詳しくは後ほど生涯学習課から報告があります。</p> <p>3の教育長訪問は9月22日に大佐和中で行い、子どもたちが真剣に授業に取り組む姿を見ることができました。</p> <p>9月議会では、令和7年度富津市一般会計補正予算、令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について、また、教育委員会に係る事項として、小中学校再配置や学校の暑さ対策、部活動地域展開などについて質問が出されました。詳細は来月の定例会で報告します。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。何か、御質問、御意見はございますか。</p> <p>それでは、各課報告をお願いします。</p> <p>始めに学校教育課からお願いします。</p>

細谷参事	<p>学校教育課から報告いたします。</p> <p>9月1日に、市内全小中学校で始業式が行われました。</p> <p>熱中症対策として、リモート実施や空調設備のある特別教室での開催、または換気を十分に行った上で気化熱冷風機等を使用して体育館で実施するなど、各学校で工夫を凝らして行いました。</p> <p>なお、9月1日現在の児童数は1,361名、生徒数は776名で、5月1日と比較すると小学校で4名、中学校で1名、合計5名減少しております。</p> <p>9月3日には、佐貫小学校・大貫小学校区を対象とした学校再配置個別計画検討協議会の代表者部会を大貫小学校で開催しました。</p> <p>協議会では、大佐和小学校の新しい校章について、採用案は白黒デザインであったため、色づけ作業は代表部会に一任することが発案者より了承され、確認作業を行いました。また、坂井英一氏に依頼していた大佐和小学校の校歌を、代表部会の方々に試聴していただきました。校章や校歌の詳細については、後ほど報告の中で説明いたします。</p> <p>9月9日には、青堀小学校と飯野小学校で南房総教育事務所長の訪問がありました。</p> <p>今年度の富津市学校教育の基本姿勢「授業でかえる」に基づき、授業では児童の実態に応じた集中が持続できる授業展開や協同的な学習の場の工夫が見られ、児童・教師ともに真剣に授業に取り組む姿が確認されました。学校経営部会では、学力向上、指導力向上、及び働き方改革について協議を行いました。</p> <p>9月11日には、天羽小学校で環小・天羽小の学校再配置個別計画検討協議会PTA等部会を開催しました。</p> <p>会議では、今後実施される臨時PTA総会の資料作成及び確認を行いました。臨時総会の主な議題は、会則、令和8年度事業計画並びに予算承認、役員改選に関する事項です。</p> <p>9月22日には、大佐和中学校で教育長の訪問がありました。</p> <p>授業では、生徒一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会が提供され、生徒が自ら選択し学習する姿が見られました。授業参観後の学校経営部会では、「授業でかえる」を基本姿勢に置いた学力向上及び教員の指導力向上、不祥事の根絶等について協議を行いました。教育長や教育委員の皆様からの率直な御意見や温かい御言葉は、今後の学校経営</p>
------	---

	<p>に大きな示唆を与えるものでした。</p> <p>以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて教育センター、お願いします。</p>
川島所長	<p>はい。教育センターから報告いたします。</p> <p>8月22日から8月28日までの7日間、海外派遣交流事業として、4名の生徒及び2名の引率者で姉妹都市カールスバッドに行ってまいりました。</p> <p>現地での体験内容については、前回の定例会議の際にお示ししたとおりですが、一昨年度の派遣の時以上に、現地校の生徒との交流など、学びの要素を多く取り入れたものとなりました。ホームステイ先での交流はもちろん、現地の学校との交流の中で、富津市の魅力や日本の中学校生活について、画像を用いながら、タブレットを活用してプレゼンをする機会など、大変貴重な経験ができました。</p> <p>帰国した生徒の顔には、7日間の海外生活を通して得た自信と無事に帰ってきた安堵感が溢れていきました。</p> <p>9月12日には帰国後の報告会を行い、現地で行ったプレゼンの様子を動画で見た後に、派遣した一人一人から経験してきたこと、学んできたことについて、報告がありました。</p> <p>参加した中学生は、ホームステイ先での生活を通して感じた文化の違い、食生活の違いなど、写真を用いて説明しました。自分の進路に関わる目標ができたと語る生徒がいるなど、大きな刺激を受けて帰国したことがわかりました。</p> <p>今回の派遣の大きなテーマとして、学びを深め、広げるということを掲げておりましたので、帰国後報告会についても、市などを対象とした大人向けのものについては、前回より縮小して実施しましたが、その代わりに今回は、同じ中学生に対する報告会を今後、各校において実施する計画をしています。</p> <p>9月8日、16日にそれぞれ富津中、大佐和中で部活動地域展開に係る学校訪問を実施しました。本年度は、本市における部活動地域展開の</p>

	<p>進捗状況や方向性を広く周知することにより、部活動に関わる多くの方々の不安を和らげ、また、要望等の声に耳を傾ける機会を増やしていきたいと考えています。その一環として、これまでの校長会や部活動地域移行協議会での周知のほか、学校の教職員一人一人と情報共有するために、学校を訪問し説明してまいりました。その後、質問、要望を受ける機会を設けました。天羽中については 10 月上旬に行く予定になっています。</p> <p>9 月 24 日、第 3 回社会科副読本編集会議を行いました。2 年間の編集作業も終盤を迎えており、編集委員がそれぞれ担当しているページの修正箇所等について、委託業者とともに確認し合いました。11 月に行う、第 4 回の編集会議が最終となります。</p> <p>以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて生涯学習課、お願いします。</p>
篠田課長	<p>生涯学習課から報告いたします。</p> <p>8 月 21 日、第 2 回富津市スポーツ・レクリエーション推進員連絡協議会会議が行われ、今後の事業に関する協議が行われました。</p> <p>8 月 22 日、第 1 回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会が行われ、主に令和 6 年度事業報告及び決算について、審議が行われました。</p> <p>9 月 7 日、スポーツ推進委員による、ふれあいドッヂビー大会ニュースポーツチャレンジが総合社会体育館で行われました。大会には 4 チーム 28 名が参加し、学年に関係なく一緒に戦し、子供たちの大きな歓声と笑顔が見られました。ボッチャは、誰もが気軽に始められるスポーツであり、集まった方々に体験していただき、普及啓発を行いました。</p> <p>9 月 9 日、第 4 回富津市スポーツ推進委員連絡協議会会議が行われ、スポーツ推進委員主催等による大会の役割分担等を決定・確認しました。</p> <p>9 月 16 日、船員の職業を知ってもらう機会として、東京湾フェリー特別クルーズが全日本海員組合の主催のもと、東京湾フェリー株式会社により、市内小学校 5 年生 250 人を対象に開催されました。</p>

	<p>金谷港を出港し、富津沖を北上して第2海堡で折り返し、鋸南側からの鋸山を見渡して金谷港へ戻る特別な周遊でした。子どもたちは、船内にて操舵室の見学や、ロープワーク体験、海上から望むふるさとの景観について、船員から説明を受け、真剣な眼差しで学んでいました。富津市に対する愛着が深まったことを期待します。</p> <p>生涯学習課の報告は以上です。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて公民館、お願ひします。</p>
長谷川館長	<p>公民館から報告いたします。</p> <p>8月23日、令和8年「富津市二十歳の集い」第2回実行委員会を富津公民館で実施いたしました。実行委員長の牧野耕大を中心とし、記念行事や式典の役割分担などについて、話し合いが行われました。</p> <p>今後も、式典当日に向けて、概ね月1回の実行委員会を実施していくことになります。</p> <p>9月12日、富津市民文化祭2025実行委員会第1回役員・正副部門長会議を中央公民館で実施いたしました。</p> <p>議題につきましては、富津市民文化祭2025出展・出演者数について及びメインテーマ及びポスターイラストの選定を行いました。</p> <p>メインテーマは42名の応募の中から、吉野小学校1年生江口想祐さんの「未来につなごう 富津のチカラ」が最優秀作品に選ばされました。</p> <p>ポスターイラストでは、小学生13点、中学生16点合計29点の応募の中から大佐和中学校2年生高橋佐和子さんの作品が最優秀作品に選ばされました。</p> <p>次に、優秀作品として小学校の部で、青堀小学校4年生平野妃星さん、中学校の部では、大佐和中学校3年生小原廉央さんの作品が選ばされました。4名の入賞者には10月26日の文化祭「子どもまつり」会場にて表彰式を行い、記念品を贈呈いたします。また、応募者全員に参加賞を配布する予定です。</p> <p>なお、今後の広報としまして、最優秀作品のメインテーマとポスターイラストを盛り込んだ、広報用のポスターを200部印刷し、各団体、サークルなどを通じて、市内各所へ掲示いたします。このほか、文化祭の記事を掲載した公民館だよりを区長回覧するとともに、市HP、安全安</p>

	心メールなどでPRすることとしています。 公民館からの報告は以上です。
山下教育長	はい。ありがとうございました。 各課報告の中で御質問・御意見はございますか。
嶋野委員	はい。嶋野委員。 9月1日に、各小中学校で始業式が行われ、夏休みも終わりましたが、夏休みの期間中に事故、トラブル等大きな問題はなかったでしょうか。
細谷参事	教育委員会の方には事故トラブル等は報告されていません。
山下教育長	他にありますか。
池田委員	はい。池田委員。 教育センターの報告でありました、富津中、大佐和中での部活動地域展開の学校訪問ですが、先生方への情報の提供と共有化を目的とした訪問だと伺っておりますが、先生方がどう考えているのか私自身把握できていない部分があるので、学校訪問で先生方が部活動に対するどのような考え、意見が出たのか教えてください。
川島所長	3校すべて訪問したわけではないので全部ではないですが、意見としては、概ね市が進めている方向性について賛成で、その方向で進めていただけるとありがたいという声が聞こえてきています。現在部活動をサポートしていただいている外部指導者、部活動指導員についても、大変ありがたいといった言葉が出てきていますが、今後地域移行を進めいくことに対して休日の教員の手伝い方や、希望があった場合にどのような関わり方ができるのかなどの話が中学校の方から出てきました。
池田委員	先生方の働き方改革の一つだとは思いますが、先生方の中には、部活動をやってみたいという志を持って教員になった方もいらっしゃると思うのですが、そのような先生方はどんな意見でしょうか。
山下教育長	実際に中学校で部活動をやっているところを周りながら、教員に聞いたところ、委員のおっしゃるとおり、もっとやりたいと思う教員も居れば、休日はやらなくてもいいという教員もいました。実際に声を拾うということでこの後アンケートを実施するということで教員の意識調査することができればと思います。
川島所長	私たちが協議会で話し合う中で、部活動の意義を強く感じていて、もっとやりたい、継続してほしいと考えている教員の声はよく耳に届きま

	<p>すが、その他の声として、働き方改革の視点であったり、正直なところもう少し負担を軽くしてほしいという声も吸い上げなければいけないという思いもあり、教員に聞いていますが、やはりそういった声も若干は聞こえてきています。またそういった方々も土日の手当などしっかりつけてほしい等の要望もあがってきています。また、全体がまとまった段階で検討していきたいと思います。</p>
山下教育長	他にありますか。藤平委員。
藤平委員	<p>教育センターの報告にあった、海外派遣交流事業帰国報告会についてお尋ねしたいと思います。一昨年度の前回はお声がけをいただいたので、私も報告会に参加させていただきました。今回は先ほど説明があつたように、大人への報告は縮小して学校での報告会を充実させる趣旨の話がありましたが、天羽、大佐和、富津の各中学校の中でそれぞれ報告をする時に学校格差というか、海外派遣に行った生徒、行っていない生徒がいる学校があります。聞いた内容がそれぞれ違っていて、行った生徒にはそれぞれ個人の目的のようなものをもって参加されている生徒もいたと思うのですが、3校に共通する報告テーマみたいなものが決まっていれば教えていただきたいです。</p>
川島所長	<p>3校に派遣者がいればよかったです。今回天羽中学校には派遣者がいませんでした。大佐和中、富津中に関しては各学校で報告会を実施します。現在学校と相談しながら、実施時期や方法を検討しているところです。富津中においては、より多くの保護者の方や地域の方に聞いていただきたいということで、文化祭の中で報告の時間を作る方向で検討しています。大佐和中も富津中と同じように文化祭で検討しましたが、プログラムの都合上難しいということで、時期について検討しています。天羽中については、今回もですが、前回も派遣者がいなかつこともあって、大佐和中、富津中で行う報告会を動画で撮影して、後日天羽中で見られるようにする形で検討しています。報告のテーマについては特に掲げてはいませんが、それぞれの生徒が学んできたことを報告してもらう形で考えています。</p>
藤平委員	<p>各々がそれぞれの体験をしてきたと思いますが、現地の学校での交流がとてもよかったという話がありましたので、行っていない生徒に海外の学校を身近に感じてもらえるように工夫していただければと思いま</p>

	す。
山下教育長	<p>学校での様子を撮影した動画等を使って報告すると思うので、委員がおっしゃるように伝えられるのではないかと思います。</p> <p>他にありますか。</p> <p>無いようですので、次に報告事項に入ります。</p> <p>報告第1号「佐貫小学校と大貫小学校の再配置に係る「校歌」「校章」について」説明をお願いします。</p>
大畠主幹	<p>はい。報告第1号について、御説明いたします。</p> <p>3ページをお開きください。</p> <p>本報告は、佐貫小学校と大貫小学校の学校再配置個別計画検討協議会代表部会において、別紙のとおり「校歌」「校章」を決定したので、報告するものであります。</p> <p>4ページ 資料をご覧ください。</p> <p>校歌になります。坂井英一氏に作詞作曲を依頼したものです。</p> <p>校歌に込めた作成者の思いを紹介します。</p> <p>1番は、夢を見てあきらめないこと、夢を持ち続けることへの思い</p> <p>2番は、今世界で争いが絶えないので、平和を求める思い</p> <p>3番は、学び舎を陽だまりとして、自分自身も陽だまりのような人となることへの思いが込められています。</p> <p>5ページの資料をご覧ください。</p> <p>6月にお伝えしたもののデータ化及びカラーにする作業を行いました。9月3日の代表部会においていくつかの例を示し、委員の皆さんの投票で決定しました。</p> <p>以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>報告第1号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第2号「令和7年度富津市内小中学校修学旅行について」説明をお願いします。</p>
大畠主幹	<p>はい。報告第2号について、御説明いたします。</p> <p>2学期、9月4日天羽中学校を皮切りに、11月にかけて市内全ての小中学校で修学旅行を実施します。表にない富津中学校に関しては既に1学期に実施しております。なお、小学校は神奈川県（鎌倉・箱根方面）</p>

	<p>東京方面を予定し、中学校は京都府大阪府方面にて実施し、中学校の欠席者は7名の記載については、欠席理由の多くは、不登校によるものであったと伺っております。</p> <p>行き先地の保健所等の衛生監督照会や消防本部への照会等を実施し、児童生徒の安全対策を図ったうえで実施したいと考えています。</p> <p>以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>報告第2号について、御質問はございますか。</p>
嶋野委員	<p>はい。嶋野委員。</p> <p>7名の不参加の生徒の中に、経済的理由で不参加の生徒はいらっしゃいますか。</p>
大畠主幹	<p>大佐和中不参加3名は不登校、天羽中不参加4名のうち3名は不登校、1名はコロナ発症ということで、学校に確認しましたが経済的理由で不参加といった生徒はいませんでした。1学期の富津中についても経済的理由で不参加といった生徒はいませんでした。</p>
嶋野委員	<p>今後、経済的な理由で不参加の生徒が出てくることも考えられると思うのですが、そういう生徒に対して、就学援助制度のようなもので、修学旅行の補助を受けることができないのかと思いました。</p> <p>また、東京都葛飾区で物価高騰による旅行費値上げに対応するため、中学校の修学旅行費を全生徒対象に無償化にしたと聞いていますが、富津市も将来的に修学旅行費を無償化にする考え、可能性はあるのでしょうか。</p>
大畠主幹	<p>修学旅行費だけではないですが、そのような補助がありますというのは家庭の状況に合わせて学校や市から紹介しています。修学旅行費の全生徒児童の全額無償化については、現在まだ検討段階ではないです。</p>
細谷参事	<p>修学旅行費については、準要保護の方で補助が出ていまして、小学校が22,690円、中学校で60,910円補助しています全額を賄えているかというと不足している部分もあるので、市としては、検討していくところであります。学校の方からも金額を上げてほしいといった声もありますので、検討していきたいと思います。</p>
山下教育長	<p>他にありますか。</p> <p>はい。藤平委員。</p>

藤平委員	昨年から、佐貫小の旅行先が東京方面に変更になっていたと思いますが、今年度も東京方面です。昨年度実施してみて良かったということから継続して東京方面になっているのかと思いますが、佐貫小が東京方面を選択した理由がありましたら教えてください。
大畠主幹	昨年度伺った理由ですが、田舎に住む子どもたちに都会の様子を見せたいという思いから実施し、当時の5年生から、来年自分たちの就学旅行でも東京に行きたいという声があったので、東京になったと伺っています。
山下教育長	他にありますか。 無いようですので、次に報告第3号「専決事項の報告について」、説明をお願します。
樋口課長	報告第3号について、御説明いたします。 8ページをご覧ください。後援申請がありましたので、富津市教育委員会行政組織規則第9条第1項の規定により、9ページに記載のとおり6件をそれぞれ承認しましたので、同条第2項の規定により報告するものです。 個別の内容についての説明は割愛させていただきますので、ご了承ください。 以上でございます。
山下教育長	はい。ありがとうございました。 報告第3号について、御質問はございますか。 無いようですので、次にその他に入ります。 委員の皆様から何かございますか。
藤平委員	はい。藤平委員。 前回の定例会議の際に、9月から学校給食の食物アレルギー対応が始まっていますということで報告をいただきましたが、9月に入り実施状況はいかがかと思いまして、対象児童生徒、保護者、調理場の対応や学校の対応などいろいろ上がってきていることがありましたらプラス面でもマイナス面でも教えていただけたらと思います。
細谷参事	9月からアレルギー対応がスタートいたしまして、運営面、配送面については、今のところ滞りなくスタートしています。2名除去食対応の児童が吉野小と青堀小に各1名いますが、子どもたちからは、給食が食

	<p>べられておいしい、学校の方からも、今まで保護者の方がお弁当を準備していたところを、これからは給食の方で対応ができるので良かったとのことでした。今後も安全面に十分注意しながらアレルギー対応を進めていきたいと思います。</p>
山下教育長	<p>他にありますか。</p> <p>無いようですので、生涯学習課、お願いします。</p>
篠田課長	<p>内裏塚古墳群の国指定史跡への追加指定について報告します。</p> <p>机上に配付いたしました官報（写）をご覧ください。</p> <p>国指定史跡である内裏塚古墳について、周辺の上野塚古墳、九条塚古墳、古塚古墳、稻荷山古墳、三条塚古墳、割見塚古墳、亀塚古墳の7基を加えた「内裏塚古墳群」として、国指定史跡とすべく、令和7年2月に、追加指定及び名称変更のための意見具申書を文部科学大臣へ提出しました。</p> <p>このたび、令和7年9月18日付で、官報告示され、正式に「内裏塚古墳群」として国指定史跡になりましたことを御報告申し上げます。</p> <p>また、国指定史跡の指定に伴い、市指定史跡でありました上野塚古墳、九条塚古墳、古塚古墳、稻荷山古墳、三条塚古墳、の5基の古墳については、同日付で解除となりましたので、ご承知おき下さい。</p> <p>以上になります。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>この件について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので教育総務課、お願いします。</p>
樋口課長	<p>はい。それでは、次回の教育委員会会議の日程でございますが、10月15日、水曜日、午前10時から、401会議室において開催を予定しておりますので、よろしくお願いします。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>以上で教育委員会定例会を終了させていただきます。</p>